



中国四国管区警察局 職員インタビュー



第2回

令和3年度採用（農学）
広島県情報通信部 機動通信課

今回は広島県情報通信部で
インタビューです！
よろしくお願いします！



お忙しいところありがとうございます。

「休暇」は皆さん気になるポイントだと思うんです。お休みの日は、いつもどのように過ごされていますか。

休日は仕事のことは考えず、オンとオフの切替を確実にするように心掛けています。家で映画を鑑賞したり、実家の近くで釣りをしたりすることもあります。



のんびり映画鑑賞や釣りをする.....最高の休日ですね。釣りは、釣るのも食べるのも楽しそうで、興味を持っております。

休暇が取得しやすいため、趣味の時間をしっかり確保できます。



休暇が取得しやすいことは、仕事において大事なポイントですね。
とても参考になります。




普段はどんなお仕事をされているんでしょうか！



警察官が現場で使用している無線や電話等、各種通信機器の保全業務を行っています。


技官として、情報通信の業務に携わっていらっしゃる。どの仕事もそうですが、とても重要な業務ですね。

これらの機器は事件の認知や警察官の連携に必要不可欠なものであり、24時間態勢で運用しなければなりません。システムに障害が発生すると、警察活動ひいては市民の方々の安全に大きな影響が出てしまうため、日々緊張感を持って業務に取り組んでいます。




おお.....そのお陰で、僕の毎日があるんですね。いつもお世話になっております。
では、そういったお仕事の中で、達成感を覚えるのはどんな瞬間でしょうか？

警察署員の要望に応じて無線機や電話機を新設した際には、感謝の声を多くいただきます。
自分の整備した機器が実際に警察業務で活用されているのを見ると、大変な作業でもやって良かったと感じます。




警察局は国の機関ですが、こうして県警察の運営にも関わっているんですね。
管区内の通信網を絶えず運用するのは大変だと思います。しかし、それだけ大切で、達成感も得られる仕事なんですね。

業務で一般の方々と接する機会はほとんどありませんが、警察業務を支えることにより、間接的に市民生活の向上に貢献しているという自負を持って職務を遂行しています。



僕の心には、今、直接伝わりました。
警察庁技官は、自分の技術力で多くの人々の生活を守り、支えられる仕事なんだと、このインタビューで実感できました。



今日はありがとうございました！
強い使命感が伝わりました！